

03.06.25

アーバンリノベーション研究 発表

中山間地域における人口還流現象の
実態とその要因に関する研究
ー兵庫県淡路島を事例に

政策メディア研究科 修士課程2年
片桐 暁史 / akifumi@sfc.keio.ac.jp

本日のテーマ

研究計画
おさらい

研究の流れ
現在の位置づけ
これから

アンケート
対象者

コーホート別
島内・島外
在住者数
対象コーホート
プロフィール
(移動経緯)

アンケート
調査項目

基本属性
移動経緯
Uターン
誘引・阻害要因
地域における
役割

研究の目的

① 問題意識

中山間地域・・・国土面積の7割
農業生産の4割
若年層流出による過疎・高齢化
↓↓↓
人口還流の正確な実態把握は
わが国の地方圏の将来に重要課題

② 研究の目的

兵庫県淡路島を事例に、
人口還流の実態と要因を解明

どのような人が、
どのような条件の下で帰還し、
どのような役割を果たしているか

③ 研究の意義

既往研究・・・国調、住基
(×) Uターンの正確な実数把握
⇒同窓会名簿分析により
市町村単位での帰還先の特定
淡路島・・・
人口移動を左右する様々な要素



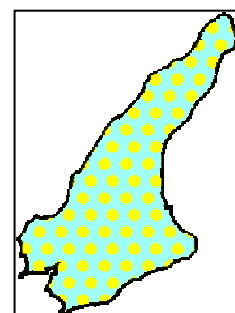
研究の流れ

2001卒業制
～
2002.05

< 昨年度 >

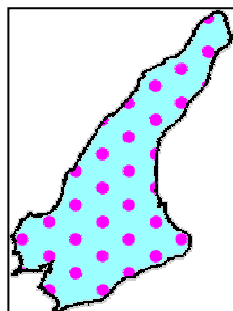
国勢調査
住民基本台帳
事業所統計

現地巡検
役場ヒアリング
既往研究調査



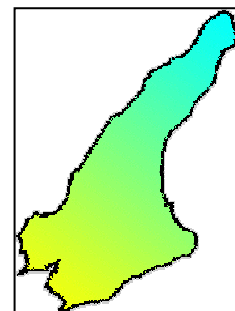
③ ヒアリング 調査

- ・ミクロな把握
- ・地域性
- ・役場/Uターン支援
センターの現状



④ 考察 地域情報構築

- ・あるべき条件と
果たせる可能性
- ・GISを用いた
地域情報の構築



アンケート調査概要

① アンケート調査の目的 「淡路島への帰還実態」

どんな人が、いつ、なぜ帰還しているの？
帰還している人、帰還していない人の違いは？
それは時代とともにどのように変化してきているの？

② アンケート調査の対象・比較法

19期生（1948年生まれ）
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間
の比較

帰還・非帰還
の比較

19期生（1948年生まれ）
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間
の比較

26期生（1955年生まれ）
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間
の比較

帰還・非帰還
の比較

26期生（1955年生まれ）
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間
の比較

41期生（1970年生まれ）
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還
の比較

41期生（1970年生まれ）
淡路島非在住者（非帰還者）

アンケート調査項目

① 居住経歴と移動理由、変化

何歳～何歳にどこに居住？
それぞれ移動の理由は？

移動前後における変化
職・勤め先、収入、通勤時間、
人間関係、住まい、余暇、満足度

② 基本属性（家族・学歴etc）

きょうだい数、位置
家族構成、両親の有無・同居
配偶者の出身地

学歴、所在地
現在の職業、住まい形態

③ 愛着と今後、自治体へ要望

淡路島への愛着・満足・不満は？
今後、＜帰還者＞再転出は？
＜非帰還者＞帰還は？

自治体に望むこと
情報提供、宅地造成、企業誘致
地場産業活性化、生活環境造り

④ 地域における役割

地域の発展への関心

現在取り組んでいること
積極的に活動している地域組織
（本人・配偶者）

島内・島外 在住者数

対象コーホートの同窓会名簿発刊年における年齢

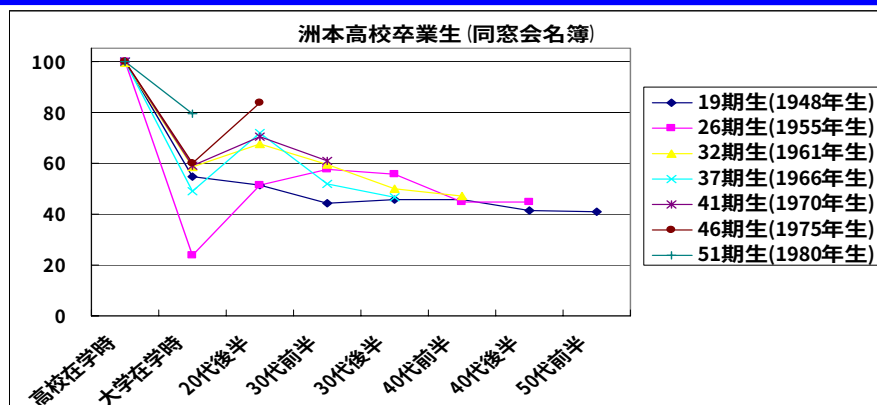
発行年 コーホート	昭和39年 1964年	昭和46年 1971年	昭和52年 1977年	昭和57年 1982年	昭和62年 1987年	平成4年 1992年	平成9年 1997年	平成14年 2002年
19期生 (1948年生まれ)	15歳	22歳	28歳	33歳	38歳	43歳	48歳	53歳
26期生 (1955年生まれ)	—	15歳	21歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳
32期生 (1961年生まれ)	—	—	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳
37期生 (1966年生まれ)	—	—	—	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳
41期生 (1970年生まれ)	—	—	—	—	16歳	21歳	26歳	31歳
46期生 (1975年生まれ)	—	—	—	—	—	16歳	21歳	26歳
51期生 (1980年生まれ)	—	—	—	—	—	—	16歳	21歳
57期生 (1986年生まれ)	—	—	—	—	—	—	—	15歳

対象コーホートの2002年における島内・島外在住者数

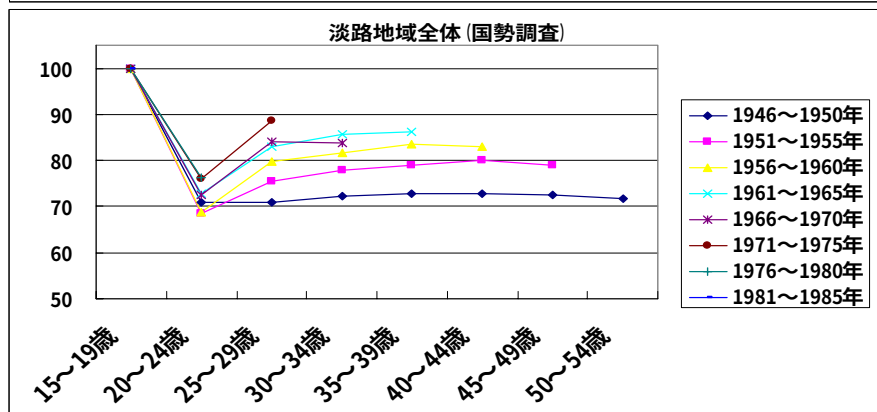
	淡路島内	淡路島外	計	含) 海外・物故・不明
19期生 (1948年生) ★	171	183	354	420
26期生 (1955年生) ★	159	144	303	355
32期生 (1961年生)	170	94	264	360
37期生 (1966年生)	123	56	179	264
41期生 (1970年生) ★	217	61	278	357
46期生 (1975年生)	261	36	297	312
51期生 (1980年生)	218	48	266	274

移動経緯 コーホート間比較

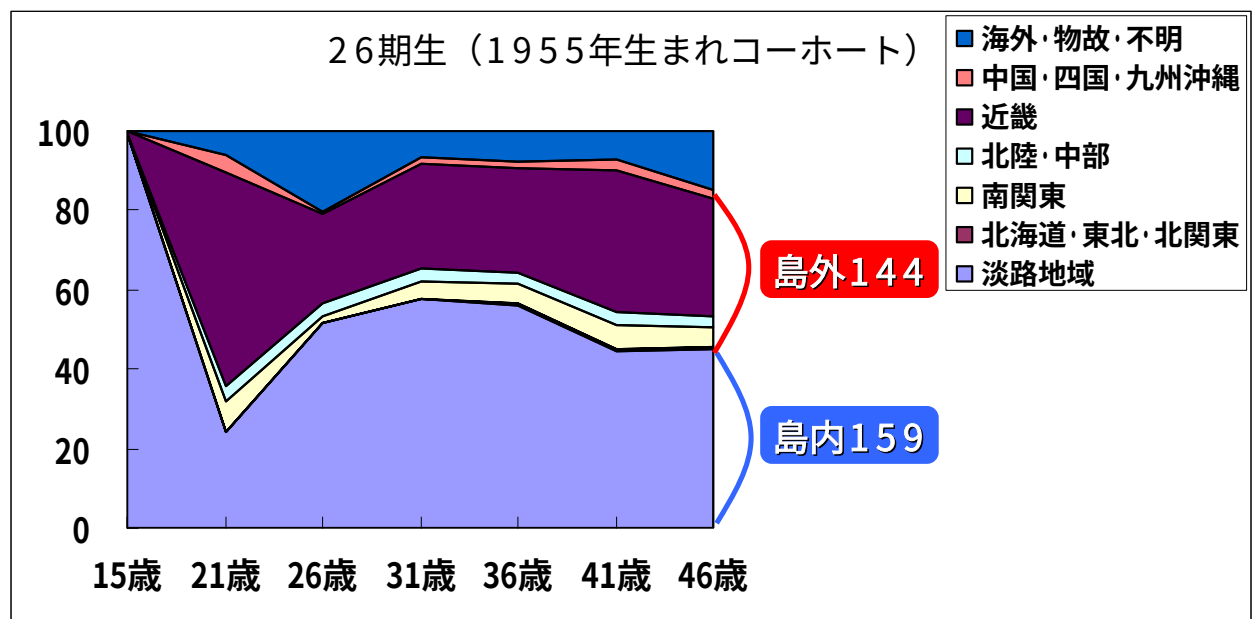
洲本高校卒業生
(同窓会名簿より)



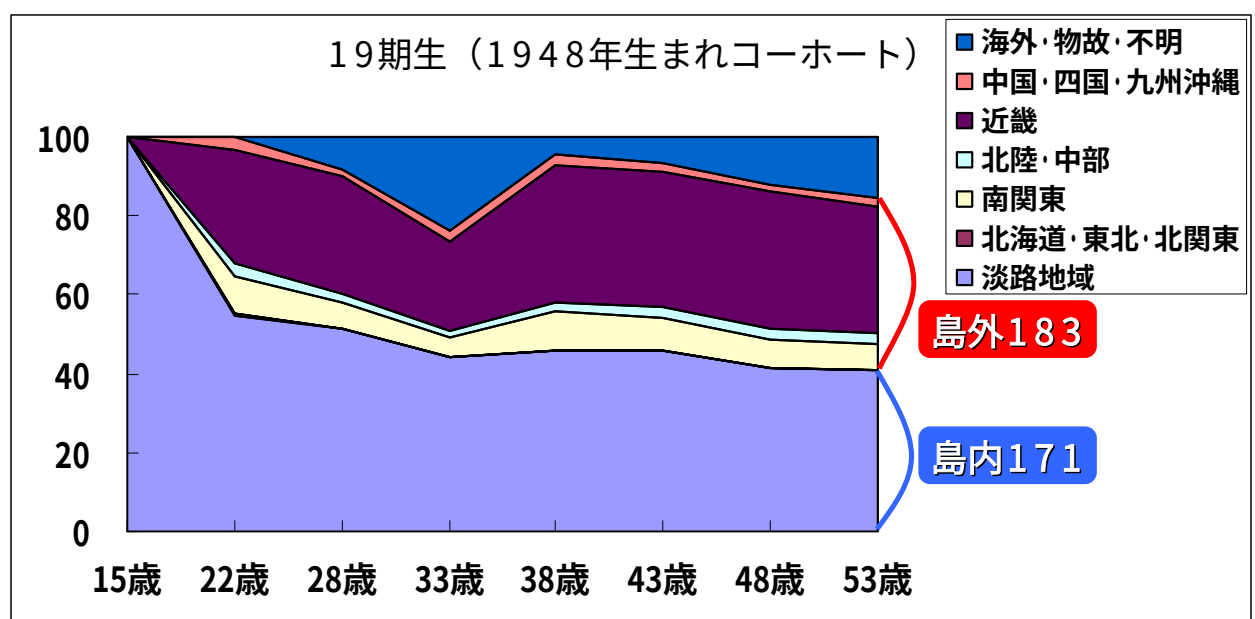
淡路地域全体
(国勢調査より)



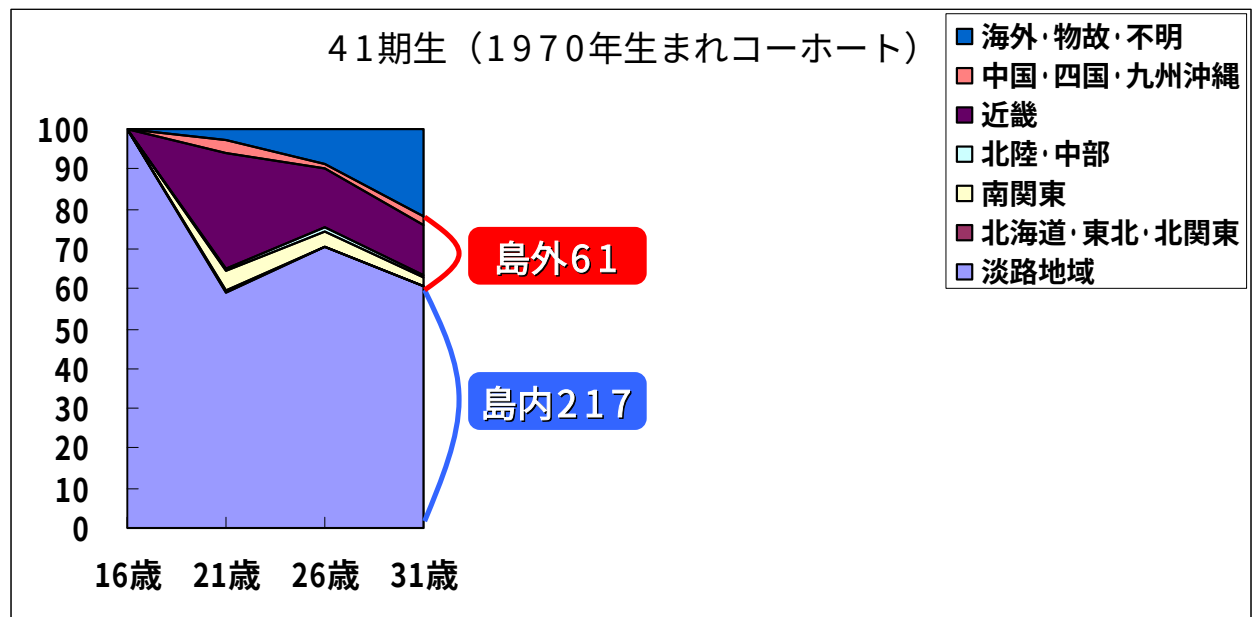
26期生(1955年生まれ)



19期生(1948年生まれ)



41期生(1970年生まれ)



アンケート調査票

アンケート調査票②

アンケート調査票③

6. その他~~新潟県外~~地方(国・中山間(高山山村)地域など)

7. その他

質問 14 あなたは今後(定年まで)の再婚希望についてどのような希望を持っておられますか?

①親との関係

1. 現在の居住関係を続けた
2. あなたの現在の居住地へ親を呼び寄せ、同居したい
3. あなたの現在の居住地近辺へ親を呼び寄せ、近くに住居したい
4. 親の居住地へあなたが移住し、同居したい
5. 親の居住地近辺へあなたが移住し、近くに住居したい
6. その他

②子孫との関係

1. 現在の居住関係を続けた
2. あなたの現在の居住地へ子孫に就いて来てもらい、同居したい
3. あなたの現在の居住地近辺へ子孫に就いて来てもらい、近くに住居したい
4. 子孫の居住地へあなたが移住し、同居したい
5. 子孫の居住地近辺へあなたが移住し、近くに住居したい
6. その他

質問 15 あなたは現在、定年後の再婚希望についてどのような希望を持っておられますか?

①親との関係

1. 現在の居住関係を続けた
2. あなたの現在の居住地へ親を呼び寄せ、同居したい
3. あなたの現在の居住地近辺へ親を呼び寄せ、近くに住居したい
4. 親の居住地へあなたが移住し、同居したい
5. 親の居住地近辺へあなたが移住し、近くに住居したい
6. その他

②子孫との関係

1. 現在の居住関係を続けた
2. あなたの現在の居住地へ子孫に就いて来てもらい、同居したい
3. あなたの現在の居住地近辺へ子孫に就いて来てもらい、近くに住居したい
4. 子孫の居住地へあなたが移住し、同居したい
5. 子孫の居住地近辺へあなたが移住し、近くに住居したい
6. その他

質問 16 あなたが賛成している地域組織(町内会・ロータリークラブ・生協・婦人会など)

- 6 -

1. ある+	名前		内容	
	名前		内容	
	名前		内容	
2. ない				

質問 17 あなたが親善が積極的に関与している地域組織（町内会・ロータリークラブ・生协・婦人会など）にはありますか？ある場合はその組織の名称と活動内容を記入下さい。
 ※既述の方のみお答え下さい。

1. ある+	名前		内容	
	名前		内容	
	名前		内容	
2. ない				

質問 11 で、1、5 を選んだ方は、質問 41 以降へお進み下さい。

質問 11 で、2、3、4 を選んだ方は、質問 21 以降へお進み下さい。

質問 11 で、6 を選んだ方は、質問 31 以降へお進み下さい。

質問 21-30 は、質問 11 で 2、3、4 を選んだ方（親善リターン旅行者）のみお答え下さい。

質問 21 あなたが親善ヘリターンした際、その際のことになったこととして答えてはるものに、いくつでも口をつけてください。

1. 親の健康を要する必要がある	2. 帰国後の健康を要するために帰っておこうと思った
3. 事業を継承する必要がある	4. 帰国後事業を継承するために帰っておこうと思った
5. 子供の教育の人間関係の中で生活したくなった	
6. 親類が多く生活が安定するから	
7. 量がよい環境の中で生活したくなった	
8. のんびりとした生活に魅力を感じた	
9. 良好な住宅事情に魅力を感じた	10. 仕事がありことに魅力を感じた
11. 出身地域の発展に興味したくなった	
12. 新しい仕事を始めたかった	13. 会社や地域での人間関係に惹かれた
14. 会社を辞めざるを得なくなった	15. 身体をこわした
16. 出世の意欲がなくなった	17. 大企業の世界生活に興味を感じた
18. 特許や登録取得できる発明がなかった	
19. 東京御米大博・大博・東京大博開催などから、親善会からの訪問が可能になった	
20. 福祉サービスの充実した地域で生活したくなった	
21. その他	

質問 22 あなたが親善ヘリターンした際、その際のことになったこととして答えてはるものに、いくつでも口をつけてください。

アンケート調査票④

[illegible]

質問 25 あなたご自身あるいは夫の、リターン前のご職業についてお答え下さい。

1) 雇用形態

1. 会社員
2. 公務員
3. 会社外労働員 (商社・社・IT・MT 等)
4. 自営 (商売)
5. 自営 (商売)
6. 自営 (工務)
7. その他

2) 職種

1. 農林漁業
2. 教員
3. 事務・管理職
4. 技術職
5. 専門的職業
6. 専売・接客・販売職
7. 工場労働・建設作業・交通運輸職
8. その他

3) 会社全体の従業員数

1. 10 人未満
2. 10～99 人
3. 100～299 人
4. 300～999 人
5. 1000～2999 人
6. 3000 人以上

4) リターン後の勤め先

1. 都・道・府・県
1. 市・区・町・村

交通手段 (いくつでも) 徒歩・自転車・バイク・自動車・バス・電車・フェリー・その他
通勤時間 男 1 分 女 1 分

質問 27 あなたご自身あるいは夫の、リターン後のご職業についてお答え下さい。

1) 雇用形態

1. 会社員
2. 公務員
3. 会社外労働員 (商社・社・IT・MT 等)
4. 自営 (商売)
5. 自営 (商売)
6. 自営 (工務)
7. その他

2) 職種

1. 農林漁業
2. 教員
3. 事務・管理職
4. 技術職
5. 専門的職業
6. 専売・接客・販売職
7. 工場労働・建設作業・交通運輸職
8. その他

3) 会社全体の従業員数

1. 10 人未満
2. 10～99 人
3. 100～299 人
4. 300～999 人
5. 1000～2999 人
6. 3000 人以上

4) リターン後の勤め先

1. 都・道・府・県
1. 市・区・町・村

交通手段 (いくつでも) 徒歩・自転車・バイク・自動車・バス・電車・フェリー・その他
通勤時間 男 1 分 女 1 分

質問 28 リターンの前後で年収はどのように変化しましたか？

- 8 -

アンケート調査票⑤

	6. -10→-10倍 7. -10→-20倍 8. -20→-10倍 9. -30%以上
質問 29	リターンが期待で仕事の面白さはどうなりました? 1. 非常に面白くなった 2. 少し面白くなった 3. 変わらない 4. 少しつまらなくなった 5. 全然につまらなくなった
質問 30	あなたはリターンをして良かったとお思いですか? またその理由に「もう少し良かったのが、思ったのより」を記入下さい。 [] 1. 非常に良かったと思う 2. どちらかと言えば良かったと思う 3. どちらかと否定的な気がする 4. 全く良かったと思えず 5. 良かったとも悪かったとも一概には言えない [] リターンして良かったと思う [] リターンして良くなかったと思う
質問 41	以降へお進み下さい。
質問 31	はい。質問 11 で選んだ方（※総経理・リターン・事業計画）の外をお答え下さい。
質問 31	あなたが総経理へのリターンを選んだことがありましたか? 1. ある 1. 無い →何かが異様に行動しましたが、「いくつかでも口をつけてください」 1. 実行を助けた 2. 依頼を増減した 3. 立場などによって拒絶した 4. 組織内を探した 5. 組織外と探検した 6. その他 7. 特に何もなし →何かに断念した理由は何か? 異様に記入下さい。 →質問 32 以降へお進み下さい。 2. なし →質問 41 以降へお進み下さい
質問 32	あなたが総経理へのリターンを検討した後、その後の進捗になったこととして答えてはまるものに、いくつでも口をつけてください。 1. 彼の意見を尊重する必要が生じた 2. 持主側の意見を受けるために待つ必要があった 3. 事業を進める必要が生じた 4. 持主側を説得するために待つ必要があった 5. 子孫の成功のための人間関係の中で生活することになった 6. 彼氏が多く生活費が安定するから 7. 豊かで自然環境の中で生活することになった 8. のんびりとした土地に魅力を感じた
	9. 良い住宅事情に魅力を感じた 10. 彼氏が好きになることに魅力を感じた 11. 出身地域の発展に興味を持った 12. 新しい仕事を始めた 13. 会社や地域での人間関係を築いた 14. 会社を辞めざるを得なくなった 15. 身体をこわした 16. 出世の見込みがなくなった 17. 大企業のため息に悩まされた 18. 持ち家を売却せざるを得なくなった 19. 明治海産大・大阪大学海産大に進学してから、総経理からの連絡が可能になった 20. 福祉サービスの充実した地域で生活することになった 21. その他
質問 33	あなたが総経理へのリターンを検討した後、その後の進捗になったこととして答えてはまるものに、いくつでも口をつけてください。 1. 存続後に自分自身にあった価値観が不足していた 2. 収入が下がるのが嫌だった 3. 地味社会へうまく受け入れるのが不安であった 4. 出世へのこだわりがあった 5. 既婚者が（他人の）仕事を見たらならなかった 6. 子供の学校を変えたくなかった 7. 子供が親戚の過干渉に入れたかった 8. 華やかな宴会生活へのこだわりがあった 9. これまでに抱いていた人間関係（会社・近所・家族等）を持っていた 10. 既婚者でこれまでに抱いていた人間関係を維持することができた 11. 子供が友達関係を維持することができた 12. その他
質問 34	あなたが総経理へのリターンを検討した後、あなたご自身がご家庭の状況にどのような変化がありましたか? [] 夫との関係性について 1. 良好 2. やや良好 3. 普通 4. 悪化している [] 夫との関係性について 1. 良好 2. やや良好 3. 普通 4. 悪化している [] 夫との関係性について 1. 良好 2. やや良好 3. 普通 4. 悪化している [] 夫との関係性について 1. 良好 2. やや良好 3. 普通 4. 悪化している [] あなたはどのときも あなたが男性の場合 → 1. 望んでいなかった 2. 望んでいなかった 3. 認めていない あなたが女性の場合 → 1. 希望で仕事をしていた 2. パートで仕事をしていた 3. 仕事はしていない [] あなたが既婚者はどのとき あなたが男性の場合 → 1. 希望で仕事をしていた 2. パートで仕事をしていた 3. 仕事はしていない あなたが女性の場合 → 1. 望んでいなかった 2. 望んでいなかった 3. 認めていなかった [] お子様はどのとき 1. 望んでほしい 2. 望んでほしい 3. 望んでほしい 4. 望んでほしい 1. 既に結婚していた 2. 大半・殆ど生きた 3. 高校生だった 4. 中学生だった

アンケート調査票⑥

質問 36 あなたが病室へのリターンを検討した際、あなたご自身あるいはあなたの家族を検討されたことと思いますが、その際の年収がどうもえき低下する可能性がありましたか？ 1. 年収が低下する可能性があった 2. 年収が 10～19%程度低下する可能性があった 3. 年収が 10～20%程度低下する可能性があった 4. 年収が 20～30%程度低下する可能性があった 5. 年収が 30%以上低下する可能性があった 6. まだ検討していません	居住している方は、病室門に居住していた頃の病室についてお答え下さい。 1) 病室への所属 2) 病室への所属
質問 37 病室への再入院についてお答え下さい。 1) 年間でどのくらい病室に再入院されましたか？ 2. 0回 3. 1～3回 4. 4～7回 5. 8～10回 6. 10回以上 3) 再入院されるのはどのような理由でしょうか？ 全てはまるもの全てに口をお付け下さい 1. 貧血 2. 胃腸障害 3. 便秘 4. 嘔吐 5. その他	質問 38 今後、病室へのリターンを検討する意向についてお答え下さい。 1) 今後、いつかリターンして病室を再び生活したいと思う意向がありますか？ 1. 希望がある 2. ある 3. 関心はあるが今は分らない 4. どちらとも思えない 5. なし 6. その他
質問 39 今後、病室へのリターンを希望する意向についてお答え下さい。 1) リターンする場合、病室門での生活や住まいの費用負担についてお答え下さい。 1. 定住して完全にリターンする 2. セカンドハウスとして、週末等の生活の場とする 3. 滞在して年に数回訪問する 4. その他	質問 40 その他、ご自身のリターン意向・検討等の記載を、いわゆるリターンについての意見・感想などありましたら、下欄に自由に記入下さい。
質問 41 病室への再入院についてお答え下さい。 1. 再入院の理由を教えてください 2. 今再入院に関して具体的に検討中か 3. その他	質問 42 本研究「地方における高齢化率の増加とリターン意向に関する研究」では今後、本アンケート回答者のうちリターン意向が、ケーススタディとして調査される意向がある。より具体的な調査を希望する方は、ヒアリング調査にご協力願います。ヒアリング調査にご協力いただける方は、お名前と連絡先を記入下さい。ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。 1. ヒアリング調査も可能なお名前 2. ヒアリング調査は不可
質問 43 病室への再入院についてお答え下さい。 1. 再入院は、全ての方にお答え下さい。 2. 現在、病室門に居住している方は現在の病室についてお答え下さい。現在、病室門に	以上で質問は終わります。ご協力ありがとうございました。 記入されない方はご迷惑、ご連絡先を記入してください。

今後の予定

2001卒業制作
～
2002.05

既往研究/統計
仮説立て

アンケート作成・実施
2003.07

回収・分析
2003夏休み～

ヒアリング

2003秋

考察

2003秋～冬